

銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役
橋本 健一郎

11月の銅の概況及び12月の見通し (3)

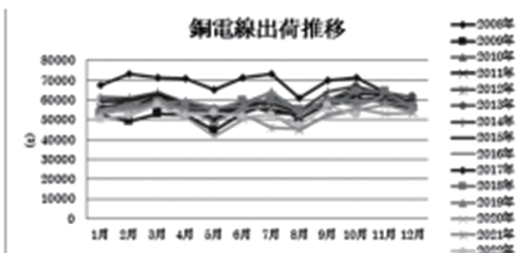
予想レンジ

LMEセトル	8,000-9,000ドル	※
建値	110万円-130万円	※
為替	135円~140円	円高

(1か月間TTM)

日本電線工業会発の出荷速報(推定)

前年比-4.7%の5万2,700 t。内訳は国内が-4.5%、輸出が-15.3%。



出典 日本電線工業会

■国内概況まとめ

【自動車生産】

生産動態統計によると10月の自動車生産台数は前年比+36.1%の65万5,459台。輸出は前年同月比+35.2%の30万6,359台。

【自動車販売】

日本自動車販売協会連合会によると10月の自動車販売台数(軽除く)は前年比+1%の22万1,541台。

内訳は、乗用車が+2.2%、貨物が+6.5%、バスは+10.6%。

【住宅着工戸数】

10月の新設住宅着工は、貸家及び分譲住宅は増加したが、持家が減少したため、全体で前年同月比1.8%の減少となった。また、季節調整済年率換算値では前月比1.5%の増加となった。

○新設住宅着工戸数は 76,590 戸。

・前年同月比 1.8%減、3か月ぶりの減少。

○新設住宅着工床面積は 6,030千㎡。

・前年同月比 5.6%減、2か月連続の減少。

○季節調整済年率換算値では 871千戸。

・前月比 1.5%増、先月の減少から再びの増加

【伸銅品生産】

10月伸銅品生産量は6万3,320トン、2か月続けての6万トンだった。ただ、前年同月比6.6%減少し、10か月連続のマイナスとなった。マイナス幅はゆっくりと拡大している。半導体向けが好調をけん引している。ただ、半導体向けでも民生用に衰えが見えてきた。

中国国内において、スマートフォンを代表とする電子機器の需要が減速している。また、中国国内のロックダウンに伴う部品等の供給不足が完成品の生産を遅らせている。自動車生産は改善してきて、部品在庫量も改善基調にある。

住宅は、新規分が着工遅れや部材遅れから伸びないが、リフォーム需要に限り伸びている。

エアコン自体は、建設関連の遅れ、エアコン部品の遅れが引き続き足を引っ張る。エアコンの需要期を過ぎており、エアコンメーカーの動きも変わってきた。

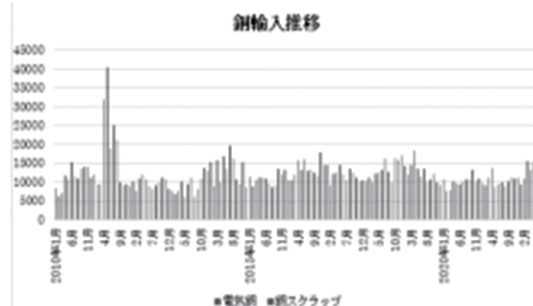
(次頁へ)

輸入

電気銅は+44.4%の709 t、スクラップは+18%の1万2,522 t。

輸入	8月	9月	10月
電気銅	714 t	257 t	709 t
前年比	+19%	-53.2%	+44.4%
スクラップ	1万1694 t	1万1241 t	1万2522 t
前年比	+34.4%	+19%	+18%

輸入推移



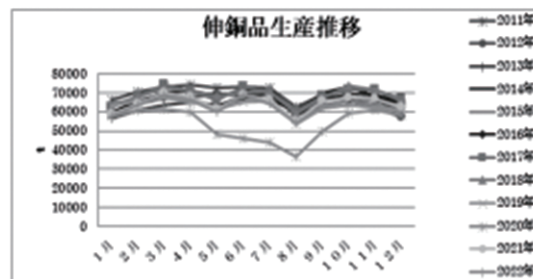
出典 財務省 貿易統計

■前月の国内指標

伸銅品生産

10月伸銅品生産量は6万3,320トン、2か月続けての6万トンだった。

ただ、前年同月比6.6%減少し、10か月連続のマイナスとなった。マイナス幅はゆっくりと拡大している。



出典 日本伸銅協会